

「こまきプレミアム商品券」市民アンケートの結果について

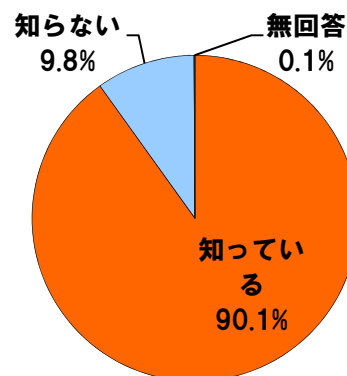
1. 実施概要

- (1) 実施目的 : 今後の商品券事業の参考にするため
 (2) 対象者 : 平成29年1月1日現在、小牧市内に1年以上居住する16歳以上3,000人（無作為抽出）
 (3) 実施期間 : 平成29年3月1日から平成29年3月15日
 （3月24日到着分まで反映）
 (4) 回答数 : 回収数1042 有効票数1041 有効回答率34.7%

2. 実施結果

問1 あなたは、こまきプレミアム商品券事業をご存知ですか？

知っている	938	90.1%
知らない	102	9.8%
無回答	1	0.1%
合計	1041	100%



年代別（知っている／回答数）

29歳以下	53/75	70.7%
30歳代	103/122	84.4%
40歳代	152/163	93.3%
50歳代	151/159	95.0%
60歳代	242/258	93.8%
70歳代	195/211	92.4%
80歳以上	41/52	78.8%
無回答	1/1	100%
全体	938/1041	90.1%

地区別（知っている／回答数）

小牧	379/423	89.6%
味岡	213/240	88.8%
篠岡	246/269	91.4%
北里	98/106	92.5%
無回答	2/3	66.7%
全体	938/1041	90.1%

地区分け（小学校区）

小牧地区	小牧、村中、三ツ渚、小牧南、米野、小牧原
味岡地区	味岡、一色、本庄
篠岡地区	篠岡、桃ヶ丘、陶、光ヶ丘、大城
北里地区	北里、小木

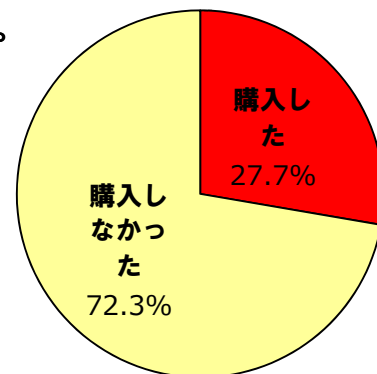
■90.1%（H24：79.0%、H25：80.9%、H26：88.4%、H27：91.5%）の方が「知っている」と回答をされております。平成27年度は国の交付金を活用して全国的にプレミアム商品券が発行されたこともあり、アンケート調査で「知っている」と回答をされた方が91.5%となりましたが、今回は90.1%と若干減少傾向にあり、今後も継続的なPRが必要です。

■年齢別では特に29歳以下の方の認知度が、他の世代と比較して70.7%（H24：55.2%、H25：55.8%、H26：70.4%、H27：69.0%）と低くなっています。地区別では、4地区とも認知度が9割前後ありますが、引続き、年代、地域などの特性にあったPR方法を行っていく必要があります。

問2 問1で「1 知っている」と回答した方にお聞きします。

あなたは、平成28年9月に販売した、プレミアム商品券を購入されましたか？

購入した	260	27.7%
購入しなかった	678	72.3%
無回答	0	0%
合計	938	100%



年代別（購入した／知っている）

29歳以下	10/53	18.9%
30歳代	26/103	25.2%
40歳代	40/152	26.3%
50歳代	39/151	25.8%
60歳代	74/242	30.6%
70歳代	61/195	31.3%
80歳以上	10/41	24.4%
回答なし	0/1	0.0%
全体	260/938	27.7%

地区別（購入した／知っている）

小牧	106/379	28.0%
味岡	61/213	28.6%
篠岡	63/246	25.6%
北里	30/98	30.6%
回答なし	0/2	0.0%
全体	260/938	27.7%

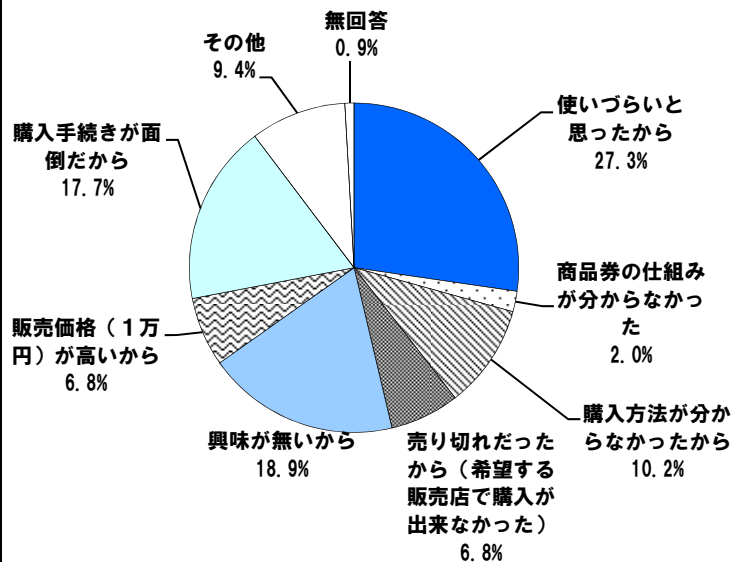
地区分け（小学校区）

小牧地区	小牧、村中、三ツ渚、小牧南、米野、小牧原
味岡地区	味岡、一色、本庄
篠岡地区	篠岡、桃ヶ丘、陶、光ヶ丘、大城
北里地区	北里、小木

- 商品券の購入状況について、「購入した」が27.7%（H24：21.6%、H25：19.8%、H26：21.1%、H27：29.1%（特別予約枠申込中7.8%分別にあり））となっております。（注：各年度においてアンケートの対象者数は同じですが、商品券の発行額や流通額は、各年度により差異があります。）
- 商品券事業を知っているが購入に繋がっていない年代については29歳以下の年代で18.9%と低くなっているものの、他の年代では2割を超える方が商品券を購入しています。地区別では篠岡地区が他の地域に比べ商品券購入者割合が低くなっており、購入者の年齢層や地区に偏りが無いようPR方法の改善や販売体制の強化に努める必要があります。

**問3 問2で「3 購入しなかった」と回答した方にお聞きします。
あなたが平成28年9月に販売した商品券を購入しなかった理由は何ですか？**

使いづらいと思ったから	185	27.3%
商品券の仕組みが分からなかったから	14	2.0%
購入方法が分からなかったから	69	10.2%
売り切れだったから (希望する販売店で購入が出来なかった)	46	6.8%
興味が無いから	128	18.9%
販売価格(1万円)が高いから	46	6.8%
購入手続きが面倒だから	120	17.7%
その他	64	9.4%
無回答	6	0.9%
合計	678	100%



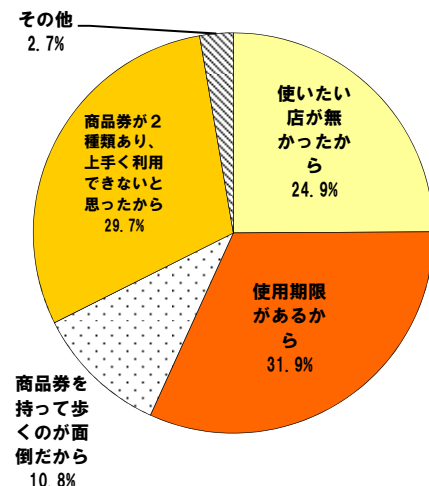
その他の意見(抜粋)

- ・いつも買う店が市外だから。
- ・販売される日が平日なので会社に勤めていると休んでまで買いに行けないから。
- ・大きい買い物の予定が無かったため。
- ・20%プレミアムのときはお得感があり買ったが、10%はあまり魅力を感じなかったため。
- ・使用期限が短いから。
- ・普段の買い物でもクレジットカードを利用しているため。

■商品券事業を知っているが購入しなかった主な理由は、過去の調査傾向と同様に、「使いづらいと思ったから」27.3%（H24：42.5%、H25：34.4%、H26：37.1%、H27：35.7%）、「興味が無いから」18.9%（H24：20.7%、H25：27.2%、H26：21.3%、H27：16.2%）が半数以上を占めています。また、今回新たに追加した選択肢「購入手続きが面倒だから」も17.7%と3番目に多い回答結果となりました。商品券の使用方法やメリットの周知を含め、さらに商品券事業の魅力を高めるとともに、販売方法についてもより多くの購入希望者が商品券を購入できるよう検討をする必要があります。

**問4 問3で「1 使いづらいと思ったから」と回答した方にお聞きします。
あなたが使いづらいと思った具体的な内容は何ですか？**

使いたい店が無かったから	46	24.9%
使用期限があるから	59	31.9%
商品券を持って歩くのが面倒だから	20	10.8%
商品券が2種類あり、上手く利用できないと思ったから	55	29.7%
その他	5	2.7%
合計	185	100%



その他の意見（抜粋）

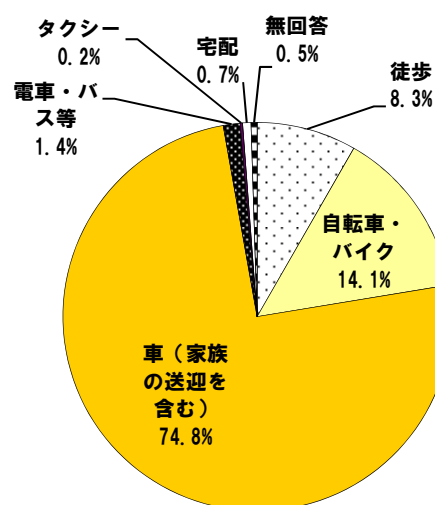
- ・ 買い物が食料品や日用品のため、多くお金を使わないから。
- ・ つり銭が出ないから。

■「使いづらいと思ったから」の主な理由は、「使用期限があるから」31.9%（H24：31.2%、H25：23.6%、H26：34.7%、H27：31.5%）、「商品券が2種類あり、うまく利用できないと思ったから」29.7%（H24：31.6%、H25：29.3%、H26：30.3%、H27：38.1%）、「使いたい店がなかったから」24.9%（H24：24.9%、H25：30.8%、H26：18.9%、H27：21.0%）となっております。消費需要を捉えた利用期間の設定や加盟店の増加、幅広い業種の参加、商品券の具体的な使用方法のさらなるPRに努める必要があります。

問5 全ての方にお聞きします。

あなたは、普段、食料品や日用品などの買い物へは、どのような交通手段を利用しますか？

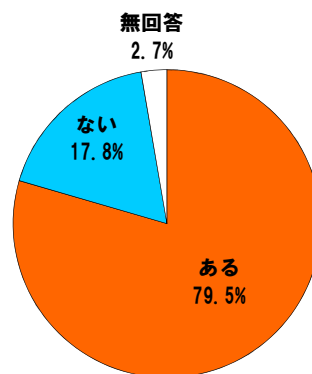
徒歩	86	8.3%
自転車・バイク	147	14.1%
車(家族の送迎を含む)	779	74.8%
電車・バス等	15	1.4%
タクシー	2	0.2%
宅配	7	0.7%
無回答	5	0.5%
合計	1041	100%



問6 問5で【車、電車・バス等、タクシー、宅配】と答えた方にお聞きします。

あなたの家の近くには、食料品や日用品などを販売している店がありますか？

ある	638	79.5%
ない	143	17.8%
無回答	22	2.7%
合計	803	100%

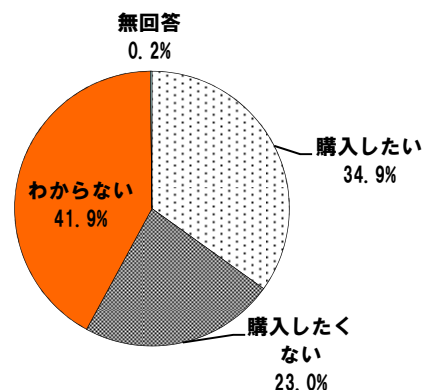


■近隣に日常生活用品の店舗があると79.5%（H24：79.3%、H25：74.0%、H26：77.2%、H27：78.7%）の方が回答している反面、買い物への交通手段として、過去の調査と同様に車の利用が74.8%（H24：74.7%、H25：72.5%、H26：74.7%、H27：73.5%）と突出して多いことから、日常の買い物については、近隣の中小小売店ではなく大型店・中型店での購入が多いと推測されます。食料品や日用品などの生活必需品、理美容・飲食等の中小小売店が立地する近隣の商店街などにおいて、商品券事業を利用した販売促進につなげるための魅力ある独自の取り組みが必要と考えられます。

問7 全ての方にお聞きします。

平成29年度もプレミアム商品券を発行する予定です。あなたは購入したいと思いますか？

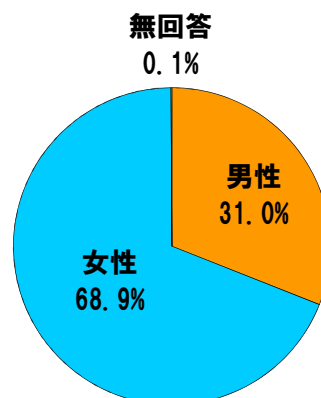
購入したい	363	34.9%
購入したくない	240	23.0%
わからない	436	41.9%
無回答	2	0.2%
合計	1041	100%



■平成29年度発行における商品券購入については、「購入したい」34.9%（H24：27.0%、H25：25.8%、H26：26.8%、H27：42.3%）、「購入したくない」23.0%（H24：25.0%、H25：28.5%、H26：27.3%、H27：18.1%）、「わからない」41.9%（H24：46.9%、H25：44.8%、H26：45.6%、H27：39.0%）となっております。平成27年度第1回販売は国の交付金を活用してプレミアム率と発行額を増加し実施しましたが、平成28年度は従来どおりプレミアム率10%とし実施しました。これにより、アンケート調査でも次回購入したいと回答した方が平成27年度第1回販売の42.3%から、今回のアンケートでは34.9%と減少しており、プレミアム率以外の魅力をPRし販売につなげていくことが必要と考えられます。

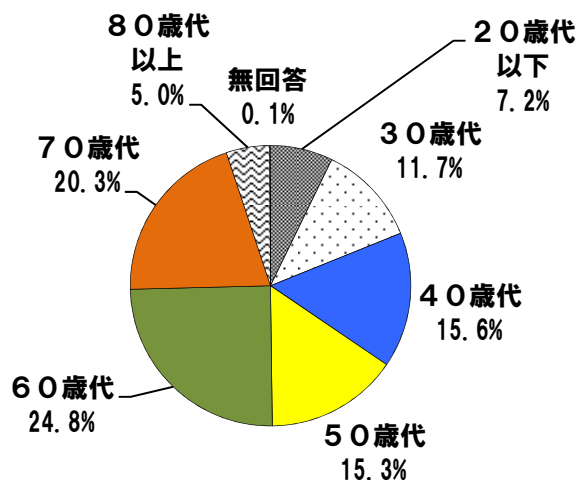
問 8 あなたの性別をお聞かせください。

男性	323	31.0%
女性	717	68.9%
無回答	1	0.1%
合計	1041	100%



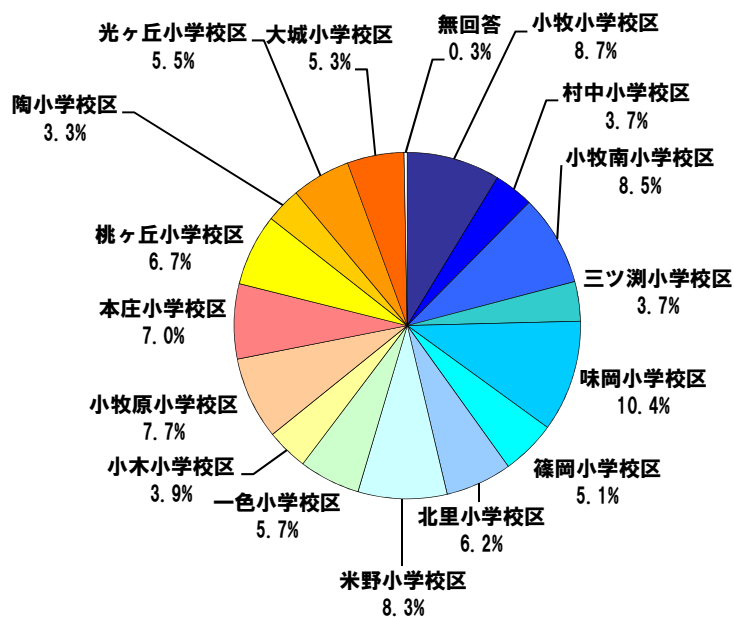
問 9 あなたのご年齢をお聞かせください。

20 歳代以下	75	7.2%
30 歳代	122	11.7%
40 歳代	163	15.6%
50 歳代	159	15.3%
60 歳代	258	24.8%
70 歳代	211	20.3%
80 歳以上	52	5.0%
無回答	1	0.1%
合計	1041	100%



問 10 あなたのお住まいはどちらですか。

小牧小学校区	91	8.7%
村中小学校区	39	3.7%
小牧南小学校区	88	8.5%
三ツ淵小学校区	39	3.7%
味噌小学校区	108	10.4%
篠岡小学校区	53	5.1%
北里小学校区	65	6.2%
米野小学校区	86	8.3%
一色小学校区	59	5.7%
小木小学校区	41	3.9%
小牧原小学校区	80	7.7%
本庄小学校区	73	7.0%
桃ヶ丘小学校区	70	6.7%
陶小学校区	34	3.3%
光ヶ丘小学校区	57	5.5%
大城小学校区	55	5.3%
無回答	3	0.3%
合計	1041	100%



商品券事業についての自由意見（抜粋）

問7で「購入したい」と回答した方の自由意見

- ・購入額の上限を上げてほしい。一人5万円くらい。
- ・商品券を購入できる額を増やして欲しい。とても家計に助かっている。是非続けてやっていただけたらうれしい。
- ・小牧市で買い物をするきっかけになり、とても良い取り組みだと思う。今はネットで何でも手に入るのので、私も利用しがちですが、商品券があるとお得だし地域で買おうと思える。
- ・色々な意見があるようですが、経済効果の面では良と理解する。
- ・青色を増やしてください。
- ・500円単位だけではなく1,000円単位もあると助かります。500円単位だと財布がパンパンになるので。レジのスタッフも数えるのに時間がかかっています。
- ・市内の使用店をもっと増やすようにして下さい。
- ・どこで使えるかの店の一覧表がほしい。
- ・年に2回発行して欲しい。
- ・年1回の発行になったようなので、使用期間を1ヶ月でも良いので、長くしてほしい。
- ・従来だと行かなかった個人商店の中に良い店を見つけることにつながり、買い物の範囲が広がった。

問7で「購入したくない」と回答した方の自由意見

- ・この事業は公平さに欠けている。こんな事をやるお金があるのなら、税金をもっと大幅に安くすべきだ。
- ・プレミアム商品券事業は、地域の活性化を目的としているのだと思いますが、ここ数年をみていてその成果があまり感じられない。商品券の割引き分を税金で負担しそれが利用できる人だけ得をし、それを使わない人は使用しないから損をしても仕方がないというような考え方は公平性がないように感じられる。
- ・商品券を購入した一部の人だけがわざわざ税を使ったお得をうけるくらいなら、小額でも全戸に配ってほしい。不平等。
- ・購入手続きがめんどくさい。
- ・一度買った事がありますが、券の使い分けが難しく片方だけが残った。それも期限があるため、はるばると行き必要でない物を買ってしまったため、もういらないと思った。
- ・私の住んでいる所は商品券の使える商店が少ない。
- ・結局お金に余裕のある人のためのものだと思う。
- ・商品購入期日や使用期限があるので、思うように利用することが難しい。券を持ち歩く手間なども考えるとカードタイプが良い。いーなも券の利用店がなく無駄になる事があると聞く。

問7で「わからない」と回答した方の自由意見

- ・何のためにやっているのか疑問。印刷代などもかかるし、効果があるようにも思えない。
- ・商品券を購入した人だけに特典があるようなことでなく、住民全員に税の還元をするアイデアを出して欲しい。
- ・子供がいる家庭では新学期等で何かと購入する物があるので、その時に使えるようにしてもらえるととてもありがたい。
- ・プレミアム券は高価支払予定のある時期に購入させていただいております。できるなら券種の区別なく加盟店ならどの券でも使えると便利と思う。
- ・使用期限内に使い切れないと無駄になってしまうので小額購入するとあまりお得感がないように思う（購入手続きがめんどくさいわりに）
- ・予約なしで購入できたり、2種類ではなく1種類にして、大型スーパーやコンビニとかで購入できたら良いと思います。
- ・年度始めの時期の販売にして、期限をせめて8～9ヶ月にしてほしい。期末では夏用の服つかが買えない。

3. アンケート結果からうかがえる課題等

今回の市民アンケートの結果からうかがえる市民の商品券事業に対する認識やその課題につきましては、過去の調査とほぼ同様なものとなりましたが、その中でも商品券を知っていると回答をされた割合が 90.1%と引き続き9割を超える方から認知されています。しかし、次回の商品券購入については、平成27年度調査では 42.3%の方が「購入したい」と回答をしたのに対して、今回の調査では 34.9%と大きく減少いたしました。これは、平成26年度以前の調査結果が、25.8%から 27.0%であることから、平成27年度は、国の交付金等を活用し、全国的にプレミアム商品券の販売がされ、マスコミ等でも多くの報道がなされたことにより一時的に過熱したことが影響しているものと考えられますが、今後もより多くの市民の方に商品券を購入していただくよう、次の課題について対応方法の検討が必要であると考えます。

1点目として、商品券を知っていても購入しなかった方の割合が7割を超えており、その理由は「使いづらいと思ったから」、「興味が無いから」、「購入手続きが面倒だから」が多く回答されました。また、使いづらいと思う理由として「使用期限があるから」、「商品券が2種類あり、上手く利用できないと思ったから」、「使いたい店が無かったから」などが多く見受けられます。これらのことから、幅広い業種の店舗の参加や各地区における加盟店の増加、日常生活用品など生活関連の店舗などの加盟状況や具体的使用方法及びメリットのPR、商品券事業を利用した各加盟店における独自の取組みなど商品券事業の魅力をさらに高める必要があります。

2点目として、商品券事業を「知らない」と回答された方の特性として、その年代が29歳以下の方が多く、昨年度の調査時に比べてその割合は減ってはいますが、日常生活用品の実質的な購入層でない方の認知度が低くなっております。さらに、知っていても購入しなかった方の特性についても、年代別では29歳以下、地区別では篠岡地区が高い傾向となっていることから、特に若い世代及び篠岡地区の体制が弱いことがうかがえます。このため、購入につながっていない年齢層や地区へのPR方法の改善、販売体制の強化が必要であり、若年層や子育て世代へ特化したPR方法の検討や篠岡地区の加盟店加入PRの強化、加盟店各店舗における来店者への一層のPRが必要であると考えております。

3点目として、日常の買い物については、大型店・中型店でのご購入が多いと推測されます。プレミアム商品券事業を実施することで、商品券を市内の小規模店舗でご利用いただくことにより、顧客獲得の機会を創出することができます。小規模店舗にてこのような機会を創出し顧客獲得に繋げていくためには、各加盟店での商品券事業を利用した販売促進による魅力ある独自の取組みが必要と考えられることから、引き続き、商店主に対する啓発が必要と考えております。

これらのことから、「こまきプレミアム商品券事業」について、世代や地区など対象とする市民に応じた幅広い方法により、わかり易い内容でPRを行うとともに、引き続き小牧商工会議所と連携し、商品券販売の方法・体制、加盟店の増加、各加盟店における取組みなどにより、商品券事業の魅力をさらに高めてまいりたいと考えております。